

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長 様
各市町村教育委員会教育長（札幌市を除く）
（ 各 市 町 村 立 学 校 長 ）

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全担当局長 泉 野 将 司

カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報に係るアンケート結果報告書に
ついて（通知）

各市町村教育委員会及び学校におかれましては、日頃から、学校安全の推進にお力添えをいただいているところです。

さて、本年7月30日にカムチャツカ半島付近で発生した地震に伴い津波警報等が発表されたところですが、道教委では、夏季休業期間中に発生した本事案において、児童生徒が津波警報等の発表をどのように把握し、津波に巻き込まれないためにどのような行動をとったのかなどの実態を捉え、今後の児童生徒の安全確保に向けた取組に生かすため、避難指示を出した地域内に学校がある教育委員会、当該の学校、当該の学校に通う児童生徒を対象にアンケートを行い、別添のとおり、結果報告書として取りまとめしましたので、お知らせします。

アンケート結果からは、津波警報が発表されていたことを知らなかった児童生徒や津波警報の発表を受け、自分のいる場所が安全ではないと思いながらも避難していなかった児童生徒、さらには、自宅が浸水被害想定区域になっているか分からない児童生徒が一定数いたことなどが明らかとなっております。

つきましては、各市町村教育委員会や学校において、本報告書を参考に、各市町村の防災担当部局と連携を図り、次のとおり、児童生徒に対する迅速な注意喚起のための連絡体制等の整備や児童生徒の安全確保のための取組を推進するようお願いします。

また、別添のとおり、家庭における災害への備え等を示した保護者向け資料を作成しましたので、保護者の皆様に配付するなどして、各家庭において、お子様と災害時の対応等について話し合う機会を設けるよう働きかけをお願いします。

記

1 児童生徒に対する迅速な注意喚起のための連絡体制等の整備

- (1) 市町村教育委員会は、長期休業や休日等の学校管理下外に災害が発生し、児童生徒が避難すべき状況となった際の注意喚起の手順や方法について、市町村の防災担当部局と共通理解を図り、学校と共有すること。
- (2) 学校は、教育委員会の指示等を踏まえ、長期休業や休日等の学校管理下外に災害が発生し、児童生徒が避難すべき状況となった際の注意喚起の手順や方法について危機管理マニュアルに明記し、教職員と共通理解を図ること。

2 児童生徒の安全確保のための取組の推進

教育委員会及び学校は、市町村の防災担当部局と連携を図り、児童生徒の安全確保のための取組として、次の指導等を充実すること。

- (1) 児童生徒が地域の津波浸水想定区域等について理解を図る指導
- (2) 児童生徒が自ら危険を判断し、避難行動をとることができるようにする指導
- (3) 長期休業や休日等の学校管理下外に災害が発生した際の児童生徒の安全確保に向けた家庭への啓発

（学校安全係）

カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報に関するアンケート
結果報告書

令和 7 年（2025年）10月

北海道教育委員会

カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報に関するアンケート結果報告書（目次）

第1章	アンケートの概要	・・・・・・・・・・	P 1
第2章	アンケートの回答件数	・・・・・・・・・・	P 2
第3章	アンケート結果		
	1. 教育委員会アンケートの回答結果	・・・・・・・・・・	P 3～4
	2. 学校アンケートの回答結果	・・・・・・・・・・	P 5～9
	3. 児童生徒アンケートの回答結果	・・・・・・・・・・	P 10～15
	4. 児童生徒アンケートのクロス集計	・・・・・・・・・・	P 16～17
第4章	全体考察	・・・・・・・・・・	P 18
参考資料	アンケートフォーム	・・・・・・・・・・	P 19～26

第1章 アンケートの概要

1 調査目的

令和7年（2025年）7月30日にカムチャツカ半島付近で発生した地震により、全道各地に津波警報や津波注意報が発出されましたが、学校においては、夏季休業期間中であったため学校から児童生徒等に対する注意喚起が困難な状況にありました。

今回の事案を踏まえ、児童生徒が津波警報等の発表をどのように知り、どのような行動をとったのかなどの実態を把握し、今後の被災時等緊急時の安全確保に向けた取組に生かすため調査を実施しました。

2 調査対象

- (1) 避難指示を出した地域内に学校がある教育委員会
- (2) 避難指示の地域内にある公立学校
- (3) 避難指示の地域内にある公立学校の児童生徒

3 調査期間

令和7年（2025年）8月25日（月）から8月29日（金）まで

4 調査方法

北海道電子自治体共同システムを活用したオンライン方式

第2章 アンケートの回答件数

1 教育委員会の回答件数

避難指示を出した地域内に学校がある28の教育委員会を対象にアンケートを実施し、全ての教育委員会から回答がありました（100％）。

2 学校の回答件数

避難指示を出した地域内の173の公立学校を対象にアンケートを実施し、161校から回答がありました（93.1％）。

学校種	対象校数	回答校数	回答率
小学校	87	80	92.0%
中学校	51	46	90.2%
義務教育学校	4	4	100%
高等学校	23	23	100%
特別支援学校	8	8	100%
合計	173	161	93.1%

3 児童生徒の回答件数

避難指示を出した地域内の公立学校に通学している26,276人の児童生徒を対象にアンケートを実施し、13,943人から回答がありました（53.1％）。

対 象	対象人数	回答人数	回答率
小学生	13,254	6,893	52.0%
中学生	7,786	4,847	62.3%
高校生	5,236	2,203	42.1%
合 計	26,276	13,943	53.1%

※義務教育学校の前期課程は小学生、後期課程は中学生に集計

※特別支援学校の小学部は小学生、中学部は中学生、高等部は高校生に集計

第3章 アンケート結果

1 教育委員会アンケートの回答結果

回答数	28
-----	----

- (1) 津波警報を受けて、所管の学校に対して、教職員や児童生徒等の安全確保に向けた注意喚起を行いましたか（避難指示の地域の学校など、一部への対応でも可）

「注意喚起を行った」85.7%、「行わなかった」14.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア 行った	24	85.7%
イ 行わなかった	4	14.3%
計	28	100.0%

- (2) (1) で「ア 行った」理由を教えてください（複数回答）

「教育委員会の判断」75.0%、「防災担当部局等から指示」33.3%、「教育委員会の防災マニュアル等に従った」16.7%、「教育局から指示」4.2%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア 防災担当部局等から指示があった	8	33.3%
イ 教育局から指示があった	1	4.2%
ウ 教育委員会の防災マニュアル等に従って注意喚起を行った	4	16.7%
エ 教育委員会の判断で注意喚起を行った	18	75.0%
オ その他（自由記載）	4	16.7%

※その他の主な内容

- ・マニュアルに沿った対応を町全体で実施
- ・防災無線・防災ラジオ等による避難指示発令
- ・一部学校は避難所に指定されており、学校に対して避難所運営協力依頼と合わせて注意喚起を行った

(3) 注意喚起の方法を教えてください(複数回答)

「電話」91.7%、「メール等」20.8%、「その他」16.7%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア メール等(SNS、LINEなどを含む)	5	20.8%
イ 電話	22	91.7%
ウ その他	4	16.7%

※その他の主な内容

- ・教育委員会と学校間のファイル共有サービス
- ・防災無線
- ・校務支援システムからの保護者連絡

(4) (1)で、「イ 行わなかった」理由を教えてください(複数回答)

「長期休業中であった」「注意喚起を行う基準に達していなかった」「特に必要性を感じなかった」がそれぞれ25%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア 長期休業中であった	1	25.0%
イ 防災担当部局等からの指示がなかった	0	0.0%
ウ 防災担当部局等から注意喚起は不要との指示があった	0	0.0%
エ 教育委員会のマニュアル等に表示されていなかった	0	0.0%
オ 注意喚起を行う基準に達していなかった	1	25.0%
カ 特に必要性を感じなかった	1	25.0%
キ その他	3	75.0%

※その他の主な内容

- ・各学校の判断によるべきものであるため
- ・事前に校長会にて取り決めた防災時の対応マニュアルを基に各学校で対応。
その後、どのような対応をとったかアンケートを取り、防災担当部署へ共有
- ・各学校の避難マニュアル、町の避難指示に従い避難したため

2 学校アンケートの回答結果

回答数	161
-----	-----

- (1) 津波警報の発表を受けて、児童生徒や保護者に対して、安全確保に向けた注意喚起を行いましたか

「全ての家庭に連絡した」39.1%、「一部の家庭に連絡した」25.5%、「行わなかった」35.4%となっている。
--

選択項目	回答数	構成比
ア 避難指示が出されている地域に居住しているか否かにかかわらず全児童生徒（の家庭）に行った	63	39.1%
イ 避難指示が出されている地域の児童生徒（の家庭）や学校に登校していた児童生徒など、一部に行った	41	25.5%
ウ 行わなかった	57	35.4%
計	161	100.0%

- (2) (1) で、「ア 全児童生徒に行った」理由を教えてください（複数回答）

「学校の判断」76.2%、「学校の危機管理マニュアル等に従った」60.3%、「教育委員会からの指示」23.8%、「防災担当部局等からの指示」6.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア 防災担当部局等から指示があった	4	6.3%
イ 教育委員会から指示があった	15	23.8%
ウ 学校の危機管理マニュアル等に従って注意喚起を行った	38	60.3%
エ 学校の判断で注意喚起を行った	48	76.2%
オ その他（自由記載）※	4	6.3%

※その他の主な内容

- ・町内全域への防災無線で対応
- ・学習サポートで登校している児童生徒が一定数いたため、それらの家庭含め連絡する必要があったため

(3) 誰に対して注意喚起を行ったか教えてください（最も当てはまるものを回答）

「保護者と児童生徒の両方」55.6%、「保護者」39.7%、「児童生徒」1.6%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア 保護者	25	39.7%
イ 児童生徒	1	1.6%
ウ 保護者と児童生徒の両方	35	55.6%
エ その他（自由記載）※	2	3.2%

※その他の主な内容

- ・校区内の地域住民全体
- ・防災無線で地域全域

(4) 注意喚起の方法を教えてください（複数回答）

「メール等」92.1%、「電話」11.1%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア メール等（SNS、LINEなどを含む）	58	92.1%
イ 電話	7	11.1%
ウ その他（自由記載）※	5	7.9%

※その他の主な内容

- ・防災無線
- ・登校していた児童生徒に直接連絡

(5) (1) で、「イ 一部の児童生徒に行った」理由を教えてください（複数回答）

「登校していた児童生徒にのみ行った」82.9%、「学校の危機管理マニュアル等に基づき対応」36.6%、「児童生徒の居住地を踏まえ、学校の判断で注意喚起が必要と思われる家庭に行った」26.8%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア 防災担当部局等から、避難指示が出されている地域に居住する児童生徒（の家庭）に注意喚起するなどの指示があった	3	7.3%
イ 教育委員会から、避難指示が出されている地域に居住する児童生徒（の家庭）に注意喚起するなどの指示があった	3	7.3%
ウ 学校の危機管理マニュアル等に基づき対応した	15	36.6%
エ 児童生徒の居住地などを踏まえ、学校の判断で注意喚起が必要と思われる一部の児童生徒（の家庭）に行った	11	26.8%
オ 長期休業期間中のため登校していた児童生徒のみ注意喚起を行った	34	82.9%
カ その他（自由記載）※	8	19.5%

※その他の主な内容

- ・来校していた保護者にも注意喚起を行った
- ・登校の予定がある生徒の家庭にのみ行った

(6) 誰に対して注意喚起を行ったか教えてください（最も当てはまるものを回答）

「保護者と児童生徒の両方」51.2%、「児童生徒」41.5%、「保護者」4.9%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア 保護者	2	4.9%
イ 児童生徒	17	41.5%
ウ 保護者と児童生徒の両方	21	51.2%
エ その他（自由記載）※	1	2.4%

※その他の主な内容

- ・登校している生徒およびその保護者に加え、隣接する野球場の中学生とその保護者など

(7) 注意喚起の方法を教えてください(複数回答)

「校内放送等」61.0%、「メール等」39.0%、「電話」29.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア メール等（SNS、LINEなどを含む）	16	39.0%
イ 電話	12	29.3%
ウ 校内放送等（在校している児童生徒への周知）	25	61.0%
エ その他	11	26.8%

※その他の主な内容

- ・登校していた児童生徒に直接連絡

(8) (1) で、「ウ 行わなかった」理由を教えてください(複数回答)

「長期休業中であった」87.7%、「教育委員会からの指示がなかった」33.3%、「防災担当部局からの指示がなかった」17.5%、「学校の危機管理マニュアル等」に示されていない」10.5%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ア 長期休業中であった	50	87.7%
イ 防災担当部局からの指示がなかった	10	17.5%
ウ 防災担当部局等から注意喚起は不要との指示があった	0	0.0%
エ 教育委員会からの指示がなかった	19	33.3%
オ 教育委員会から注意喚起は不要との指示があった	0	0.0%
カ 学校の危機管理マニュアル等」に示されていない	6	10.5%
キ 注意喚起を行う基準に達していなかった	1	1.8%
ク 特に必要性を感じなかった	3	5.3%
ケ 連絡する手段がなかった	2	3.5%
コ その他(自由記載)※	31	54.4%

※その他の主な内容

- ・地域防災無線による避難指示があったため不要と判断
- ・在籍している児童生徒が全て施設に入所しているため
- ・職員も避難が必要と考え、避難場所に行った
- ・在宅勤務を行っていた
- ・学校に登校中でない場合の避難指示については、地方自治体にその責任が生ずると思われるため(指示の違いや方針の把握、異なった情報による混乱を避けるため)

3 児童生徒アンケートの回答結果

	小学生			中学生	高校生	合計
回答数	全体	1～3年生	4～6年生	4,847	2,203	13,943
	6,893	2,666	4,227			

(1) 津波警報が発表された時（7月30日10時頃）、どの市町村にいましたか

「自分が住んでいる市町村内にいた」が、小学校低学年85.4%、高学年85.7%、中学生86.7%、高校生80.1%と最も多く、続いて「津波警報が発表されている別の市町村にいた」となっている。

選択項目	小学生				中学生		高校生	
	回答数		構成比		回答数	構成比	回答数	構成比
	全体		全体					
	1～3年生	4～6年生	1～3年生	4～6年生				
ア　自分が住んでいる市町村内にいた	5,900		85.6%		4,203	86.7%	1,764	80.1%
	2,278		85.4%					
	3,622		85.7%					
イ　津波警報が発表されている別の市町村にいた	530		7.7%		350	7.2%	311	14.1%
	228		8.6%					
	302		7.1%					
ウ　津波警報が発表されていない別の市町村にいた	286		4.1%		165	3.4%	82	3.7%
	114		4.3%					
	172		4.1%					
エ　津波警報が発表されているかわからない別の市町村にいた	91		1.3%		77	1.6%	18	0.8%
	27		1.0%					
	64		1.5%					
オ　その他（自由記載）※	86		1.2%		52	1.1%	28	1.3%
	19		0.7%					
	67		1.6%					
計	6,893		100%		4,847	100%	2,203	100.0%
	2,666		100%					
	4,227		100%					

※その他の主な内容

道外にいた（48件）、わからない・覚えていない（45件） など

(2) 津波警報が発表された時（7月30日10時頃）、どこにいましたか

「自宅」が、小学生低学年46.5%、高学年61.0%、中学生58.5%、高校生52.1%と最も多く、続いて、小学校低学年及び高学年では「自宅や学校以外の屋内」、中学生及び高校生では「学校」となっている。

選択項目	小学生		中学生		高校生	
	回答数		構成比			
	全体		全体		回答数	構成比
	1～3年生	4～6年生	1～3年生	4～6年生		
ア 自宅	3,820	55.4%	2,836	58.5%	1,148	52.1%
	1,240	46.5%				
	2,580	61.0%				
イ 学校	620	9.0%	886	18.3%	576	26.1%
	329	12.3%				
	291	6.9%				
ウ 自宅や学校以外の屋内（友人宅、公共施設、お店など）	1,334	19.4%	479	9.9%	196	8.9%
	700	26.3%				
	634	15.0%				
エ 乗り物の中（車、バス、鉄道など）	400	5.8%	225	4.6%	83	3.8%
	163	6.1%				
	237	5.6%				
オ 屋外	310	4.5%	224	4.6%	119	5.4%
	126	4.7%				
	184	4.4%				
カ その他（自由記載）※	409	5.9%	197	4.1%	81	3.7%
	108	4.1%				
	301	7.1%				
計	6,893	100%	4,847	100%	2,203	100%
	2,666	100%				
	4,227	100%				

※その他の主な内容

祖父母・親族などの個人宅（141件）、学童・デイサービスなどの施設（164件）、レジャー先（170件）、部活動・習い事などの関係施設（170件） など

(3) 津波警報が発表された時（7月30日10時頃）、誰と一緒にいましたか（一緒にいた人が複数いる場合は、年齢の一番大きな人について回答してください）

「大人と一緒に」が、小学校低学年84.5%、高学年67.0%、中学生60.1%、高校生52.8%と最も多く、続いて、小学校低学年では「小学生以下の人と一緒に」、小学校高学年及び中学生では「一人でした」、高校生では「高校生の人と一緒に」となっている。

選択項目	小学生				中学生		高校生	
	回答数		構成比		回答数	構成比	回答数	構成比
	全体		全体					
	1～3年生	4～6年生	1～3年生	4～6年生				
ア 一人でいた	460		6.7%		696	14.4%	366	16.6%
	73		2.7%					
	387		9.2%					
イ 大人（保護者・学校の先生など）と一緒に	5,083		73.7%		2,915	60.1%	1,163	52.8%
	2,253		84.5%					
	2,830		67.0%					
ウ 小学生以下の人（兄弟姉妹・友人など）と一緒に	514		7.5%		274	5.7%	65	3.0%
	160		6.0%					
	354		8.4%					
エ 中学生の人（兄弟姉妹・友人など）と一緒に	345		5.0%		586	12.1%	65	3.0%
	85		3.2%					
	260		6.2%					
オ 高校生の人（兄弟姉妹・友人など）と一緒に	147		2.1%		199	4.1%	447	20.3%
	37		1.4%					
	110		2.6%					
カ その他（自由記載）※	344		5.0%		177	3.7%	97	4.4%
	58		2.2%					
	286		6.8%					
計	6,893		100%		4,847	100%	2,203	100%
	2,666		100%					
	4,227		100%					

※その他の主な内容

家族（90件）、一緒にいた人物像が不明な回答（166件）、覚えていない（11件） など

(4) 津波警報が発表されたことを知ったのは、いつ頃ですか

「10時前」が、小学校低学年75.6%、高学年79.4%、中学生77.1%、高校生77.6%と最も多く、続いて、「10時～11時頃の間」となっている。一方で、「知らなかった」が、小学校低学年2.0%、高学年0.9%、中学生1.3%、高校生1.0%となっている。

選択項目	小学生		中学生		高校生	
	回答数		構成比		回答数	
	全体		全体		回答数	
	1～3年生	4～6年生	1～3年生	4～6年生	回答数	構成比
ア 10時前（警報が発表されてすぐ）	5,371	77.9%	3,739	77.1%	1,709	77.6%
	2,016	75.6%				
	3,355	79.4%				
イ 10時～11時頃の間	1,110	16.1%	846	17.5%	371	16.8%
	447	16.8%				
	663	15.7%				
ウ 11時～13時頃の間	186	2.7%	128	2.6%	61	2.8%
	89	3.3%				
	97	2.3%				
エ 13時～15時頃の間	37	0.5%	28	0.6%	17	0.8%
	15	0.6%				
	22	0.5%				
オ 15時～17時頃の間	25	0.4%	15	0.3%	5	0.2%
	18	0.7%				
	7	0.2%				
カ 17時以降	22	0.3%	8	0.2%	5	0.2%
	10	0.4%				
	12	0.3%				
キ 知らなかった	93	1.3%	61	1.3%	21	1.0%
	53	2.0%				
	40	0.9%				
ク その他（自由記載）※	49	0.7%	22	0.5%	14	0.6%
	18	0.7%				
	31	0.7%				
計	6,893	100%	4,847	100%	2,203	100%
	2,666	100%				
	4,227	100%				

※その他の主な内容

覚えていない（40件）、時刻に関する記載なし（27件） など

(5) 津波警報が発表されたことを、どのような方法で知りましたか

「テレビ・ラジオのニュース」が、小学校低学年43.2%、高学年38.8%、中学生32.0%で、「インターネットのニュース」が、高校生30.3%で最も多く、続いて、小学生及び中学生では「インターネットのニュース」、高校生では「テレビ・ラジオのニュース」となっている。

選択項目	小学生		中学生		高校生	
	回答数		構成比			
	全体		全体		回答数	構成比
	1～3年生	4～6年生	1～3年生	4～6年生		
ア テレビ・ラジオのニュース	2,752		40.5%		1,531	32.0%
	1,128		43.2%			
	1,624		38.8%			
イ インターネットのニュース	1,133		16.7%		996	20.8%
	386		14.8%			
	747		17.8%			
ウ 役所・役場からの情報伝達（防災無線、広報車など）	714		10.5%		510	10.7%
	280		10.7%			
	434		10.4%			
エ 家族からの連絡	678		10.0%		270	5.6%
	331		12.7%			
	347		8.3%			
オ 友人からの連絡	84		1.2%		96	2.0%
	25		1.0%			
	59		1.4%			
カ 地域の人からの連絡	90		1.3%		16	0.3%
	57		2.2%			
	33		0.8%			
キ 学校の先生方からの連絡	352		5.2%		751	15.7%
	248		9.5%			
	104		2.5%			
ク その他（自由記載）※	997		14.7%		616	12.9%
	158		6.0%			
	839		20.0%			
計	6,800		100%		4,786	100%
	2,613		100%			
	4,187		100%			

※その他の主な内容

スマホ・携帯電話の通知（1,682件）、利用施設の職員等（104件） など

(6) 津波警報が発表されたことを知って、どのような行動をとりましたか

「安全な場所に避難した」が、小学校低学年57.0%、高学年51.5%、中学生51.3%で、「安全な場所にいたので避難しなかった」が、高校生45.2%で最も多くなっている。一方で、「安全な場所ではないと思ったが避難しなかった」が、小学校低学年2.5%、高学年2.6%、中学生2.4%、高校生2.9%となっている。また、「安全な場所かどうか分からなかったが避難しなかった」が、小学校低学年2.3%、高学年4.5%、中学生5.3%、高校生4.8%となっている。

選択項目	小学生		中学生		高校生	
	回答数		構成比			
	全体		全体		回答数	構成比
	1～3年生	4～6年生	1～3年生	4～6年生		
ア 安全な場所に避難した	3,648	53.6%	2,454	51.3%	943	43.2%
	1,490	57.0%				
	2,158	51.5%				
イ 安全な場所にいたので避難しなかった	2,480	36.5%	1,773	37.0%	987	45.2%
	962	36.8%				
	1,518	36.3%				
ウ 自分のいる場所が安全な場所ではないと思ったが避難しなかった	175	2.6%	116	2.4%	63	2.9%
	65	2.5%				
	110	2.6%				
エ 自分のいる場所が安全な場所かどうか分からなかったが避難しなかった	247	3.6%	256	5.3%	104	4.8%
	60	2.3%				
	187	4.5%				
オ その他（自由記載）※	250	3.7%	187	3.9%	85	3.9%
	36	1.4%				
	214	5.1%				
計	6,800	100%	4,786	100%	2,182	100%
	2,613	100%				
	4,187	100%				

※その他の主な内容

保護者に連絡した（67件）、先生等の指示に基づき行動（30件）、避難準備をした（172件）、何もしなかった（129件） など

4 児童生徒アンケートのクロス集計

- (1) 「津波警報が発表された時、自宅にいた」と「津波警報が発表されたことを知って、どのような行動をとりましたか」のクロス集計

「津波警報が発表された時、自宅にいた」の回答のうち、「安全な場所ではないと思ったが避難しなかった」が、小学校低学年3.8%、高学年3.0%、中学生3.3%、高校生3.5%となっている。また、「安全な場所か分からなかったが避難しなかった」が、小学校低学年3.1%、高学年5.0%、中学生6.8%、高校生6.6%となっている。

		回答数		項 目				
				ア 安全な場所に避難した	イ 安全な場所にいたので避難しなかった	ウ 自分のいる場所が安全な場所ではないと思ったが避難しなかった	エ 自分のいる場所が安全な場所かどうか分からなかったが避難しなかった	オ その他
自宅	小学生【全体】	3,777	人数	1,739	1,589	123	166	160
			構成比	46.0%	42.1%	3.3%	4.4%	4.2%
	1～3年生	1,213	人数	568	546	46	38	15
			構成比	46.8%	45.0%	3.8%	3.1%	1.2%
	4～6年生	2,564	人数	1,171	1,043	77	128	145
			構成比	45.7%	40.7%	3.0%	5.0%	5.7%
	中学生	2,804	人数	1,311	1,110	93	190	100
			構成比	46.8%	39.6%	3.3%	6.8%	3.6%
	高校生	1,130	人数	471	512	40	75	32
			構成比	41.7%	45.3%	3.5%	6.6%	2.8%
	計	7,711	人数	3,521	3,211	256	431	292
			構成比	45.7%	41.6%	3.3%	5.6%	3.8%

- (2) 「津波警報が発表された時、一人でいた」と「津波警報の発表を知った方法」のクロス集計

「津波警報が発表された時、一人でいた児童生徒が津波警報の発表を知った方法」の回答うち、「家族からの連絡」が、小学校低学年8.3%、高学年11.5%、中学生7.7%、高校生6.7%となっている。

		回答数		項 目						
				ア テレビ・ラジオのニュース	イ インターネットのニュース	ウ 役所・役場からの情報伝達（防災無線・広報車など）	エ 家族からの連絡	オ 友人からの連絡	カ 地域の人からの連絡	キ 学校の先生方からの連絡
一人でいた	小学生【全体】	456	人数	144	87	55	50	17	1	7
			構成比	31.6%	19.1%	12.1%	11.0%	3.7%	0.2%	1.5%
	1～3年生	72	人数	34	13	10	6	3	0	3
			構成比	47.2%	18.1%	13.9%	8.3%	4.2%	0.0%	4.2%
	4～6年生	384	人数	110	74	45	44	14	1	4
			構成比	28.6%	19.3%	11.7%	11.5%	3.6%	0.3%	1.0%
	中学生	684	人数	199	189	97	53	27	3	1
			構成比	29.1%	27.6%	14.2%	7.7%	3.9%	0.4%	0.1%
	高校生	356	人数	106	106	48	24	18	1	2
			構成比	29.8%	29.8%	13.5%	6.7%	5.1%	0.3%	0.6%
	計	1,496	人数	449	382	200	127	62	5	10
			構成比	30.0%	25.5%	13.4%	8.5%	4.1%	0.3%	0.7%

- (3) 「津波警報が発表された時、大人と一緒にいた」と「津波警報が発表されたことを知って、どのような行動をとりましたか」のクロス集計

「津波警報が発表された時、大人と一緒にいた」の回答のうち、「安全な場所ではないと思ったが避難しなかった」が、小学校低学年2.1%、高学年3.0%、中学生2.4%、高校生3.3%となっている。また、「安全な場所か分からなかったが避難しなかった」が、小学校低学年2.2%、高学年4.2%、中学生5.2%、高校生3.2%となっている。

		回答数		項 目				
				ア 安全な場所に避難した	イ 安全な場所にいたので避難しなかった	ウ 自分のいる場所が安全な場所ではないと思ったが避難しなかった	エ 自分のいる場所が安全な場所かどうか分からなかったが避難しなかった	オ その他
大人（保護者・学校の先生などと一緒に	小学生【全体】	5,008	人数	2,674	1,896	132	167	139
			構成比	53.4%	37.9%	2.6%	3.3%	2.8%
	1～3年生	2,205	人数	1,264	818	47	49	27
			構成比	57.3%	37.1%	2.1%	2.2%	1.2%
	4～6年生	2,803	人数	1,410	1,078	85	118	112
			構成比	50.3%	38.5%	3.0%	4.2%	4.0%
	中学生	2,875	人数	1,466	1,099	70	149	91
			構成比	51.0%	38.2%	2.4%	5.2%	3.2%
	高校生	1,156	人数	496	546	38	37	39
			構成比	42.9%	47.2%	3.3%	3.2%	3.4%
	計	9,039	人数	4,636	3,541	240	353	269
			構成比	51.3%	39.2%	2.7%	3.9%	3.0%

- (4) 「津波警報が発表された時、一人でいた」と「津波警報が発表されたことを知って、どのような行動をとりましたか」のクロス集計

「津波警報が発表された時、一人でいた」の回答のうち、「安全な場所ではないと思ったが避難しなかった」が、小学校低学年4.2%、高学年1.8%、中学生3.4%、高校生3.1%となっている。また、「安全な場所か分からなかったが避難しなかった」が、小学校低学年6.9%、高学年5.7%、中学生7.9%、高校生8.1%となっている。

		回答数		項 目				
				ア 安全な場所に避難した	イ 安全な場所にいたので避難しなかった	ウ 自分のいる場所が安全な場所ではないと思ったが避難しなかった	エ 自分のいる場所が安全な場所かどうか分からなかったが避難しなかった	オ その他
一人でいた	小学生【全体】	456	人数	236	152	10	27	31
			構成比	51.8%	33.3%	2.2%	5.9%	6.8%
	1～3年生	72	人数	39	25	3	5	0
			構成比	54.2%	34.7%	4.2%	6.9%	0.0%
	4～6年生	384	人数	197	127	7	22	31
			構成比	51.3%	33.1%	1.8%	5.7%	8.1%
	中学生	684	人数	294	278	23	54	35
			構成比	43.0%	40.6%	3.4%	7.9%	5.1%
	高校生	356	人数	141	163	11	29	12
			構成比	39.6%	45.8%	3.1%	8.1%	3.4%
	計	1,496	人数	671	593	44	110	78
			構成比	44.9%	39.6%	2.9%	7.4%	5.2%

第4章 全体考察

1 児童生徒に対する迅速な注意喚起のための連絡体制等の整備

- (1) 市町村教育委員会は、長期休業や休日等の学校管理下外に災害が発生し、児童生徒が避難すべき状況となった際の注意喚起の手順や方法について、市町村の防災担当部局と共通理解を図り、学校と共有することが必要。
- (2) 学校は、教育委員会からの指示等を踏まえ、長期休業や休日等の学校管理下外に災害が発生し、児童生徒が避難すべき状況となった際の注意喚起の手順や方法について、危機管理マニュアルに明記し、教職員と共通理解を図ることが必要。

「津波警報の発表を知らなかった児童生徒」(3 児童生徒アンケート(4))

	小学生	中学生	高校生
キ 知らなかった	1.3%(93名)	1.3%(61名)	1.0%(21名)

2 児童生徒の安全確保のための取組の推進

市町村教育委員会や学校は、市町村の防災担当部局と連携を図り、児童生徒の安全確保のための取組として、次の指導等を充実することが必要。

- (1) 児童生徒が地域の津波浸水想定区域等について理解を図る指導
- (2) 児童生徒が自ら危険を判断し、避難行動をとることができるようにする指導
- (3) 長期休業や休日等の学校管理下外に災害が発生した際の児童生徒の安全確保に向けた家庭への啓発

「津波警報の発表を知って、避難しなかった児童生徒」(3 児童生徒アンケート(6))

	小学生	中学生	高校生
ウ 自分のいる場所が安全な場所ではないと思ったが避難しなかった	2.6%(175名)	2.4%(116名)	2.9%(63名)
エ 自分のいる場所が安全な場所かどうか分からなかったが避難しなかった	3.6%(247名)	5.3%(256名)	4.8%(104名)

「津波警報の発表時に自宅にいて、自宅が安全な場所かどうか分からない児童生徒」(4 児童生徒アンケートのクロス集計(1))

	自分のいる場所が安全な場所かどうか分からなかったが避難しなかった		
	小学生	中学生	高校生
津波警報の発表時に自宅にいた	4.4%(166名)	6.8%(190名)	6.6%(75名)

「津波警報の発表時に一人でいて、家族からの連絡で警報の発表を知った児童生徒」(4 児童生徒アンケートのクロス集計(2))

	家族からの連絡		
	小学生	中学生	高校生
津波警報の発表時に一人でいた	11.0%(50名)	7.7%(53名)	6.7%(24名)

「津波警報の発表時に大人と一緒にいて、避難しなかった児童生徒」(4 児童生徒アンケートのクロス集計(3))

	自分のいる場所が安全な場所ではないと思ったが避難しなかった		
	小学生	中学生	高校生
津波警報の発表時に大人と一緒にいた	2.6%(132名)	2.4%(70名)	3.3%(38名)

【教育委員会アンケート】7月30日からの津波警報に係るアンケート

印は必須項目です。必ずご記入ください。

- ⚠ 文字を変換するときに、📍 環境依存文字は使用することはできませんので、ご注意ください。
- ⚠ ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。
- ⚠ 60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【教育委員会アンケート】7月30日からの津波警報に係るアンケート

【1】市町村名を入力してください。

(200文字まで)

【2】津波警報の発表を受けて、所管の学校に対して、教職員や児童生徒等の安全確保に向けた注意喚起を行いましたか（避難指示の地域の学校など、一部への対応でも可）。

- ☒ ア 行った
- ☐ イ 行わなかった

【3】注意喚起を行った理由を教えてください（当てはまるものすべてを回答してください）。

(5個まで選択可能)

- ☐ ア 防災担当部局等から指示があった
- ☐ イ 教育局から指示があった
- ☐ ウ 教育委員会の防災マニュアル等に従って注意喚起を行った
- ☐ エ 教育委員会の判断で注意喚起を行った
- ☐ オ その他（自由記述）

【4】注意喚起の方法を教えてください（当てはまるものすべてを回答してください）。

(3個まで選択可能)

- ☐ ア メール等（SNS、LINEなどを含む）
- ☐ イ 電話
- ☐ ウ その他（自由記述）

お問い合わせ先

部署名	北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課学校安全係
電話番号	011-204-5895
メールアドレス	tanaka.kazuya@pref.hokkaido.lg.jp

北海道電子自治体共同システム 電子申請サービス

【教育委員会アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

印は必須項目です。必ずご記入ください。

- ⚠ 文字を変換するときに、📍 環境依存文字は使用することはできませんので、ご注意ください。
- ⚠ ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。
- ⚠ 60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【教育委員会アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

【1】市町村名を入力してください。

(200文字まで)

【2】津波警報の発表を受けて、所管の学校に対して、教職員や児童生徒等の安全確保に向けた注意喚起を行いましたか（避難指示の地域の学校など、一部への対応でも可）。

- ☐ ア 行った
- ☒ イ 行わなかった

【5】注意喚起を行わなかった理由を教えてください（当てはまるものすべてを回答してください）。

(7個まで選択可能)

- ☐ ア 長期休業中であつた
- ☐ イ 防災担当部局等からの指示がなかった
- ☐ ウ 防災担当部局等から注意喚起は不要との指示があつた
- ☐ エ 教育委員会のマニュアル等に表示されていなかった
- ☐ オ 注意喚起を行う基準に達していなかった
- ☐ カ 特に必要性を感じなかった
- ☐ キ その他（自由記述）

お問い合わせ先

部署名	北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課学校安全係
電話番号	011-204-5895
メールアドレス	tanaka.kazuya@pref.hokkaido.lg.jp

北海道電子自治体共同システム 電子申請サービス

【学校アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

印は必須項目です。必ずご記入ください。

- ⚠ 文字を変換するときに、📍 環境依存文字は使用することはできませんので、ご注意ください。
- ⚠ ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。
- ⚠ 60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【学校アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

【1】 学校名を入力してください

(200文字まで)

【2】 津波警報の発表を受けて、児童生徒や保護者に対して、安全確保に向けた注意喚起を行いましたか。

- ☒ ア 避難指示が出されている地域に居住しているか否かにかかわらず全児童生徒（の家庭）に行った
- ☐ イ 避難指示が出されている地域の児童生徒（の家庭）や学校に登校していた児童生徒など、一部の児童生徒に行った
- ☐ ウ 行わなかった

【3】 全児童生徒（の家庭）に注意喚起を行った理由を教えてください（当てはまるものすべてを回答してください）。

(5個まで選択可能)

- ☐ ア 防災担当部局等から指示があった
- ☐ イ 教育委員会から指示があった
- ☐ ウ 学校の危機管理マニュアル等に従って注意喚起を行った
- ☐ エ 学校の判断で注意喚起を行った
- ☐ オ その他（自由記述）

【4】 誰に対して注意喚起を行ったか教えてください（最も当てはまるものを回答してください）。

- ☐ ア 保護者
- ☐ イ 児童生徒
- ☐ ウ 保護者と児童生徒の両方
- ☐ エ その他（自由記載）

【5】 注意喚起の方法を教えてください（当てはまるものすべてを回答してください）。

(3個まで選択可能)

- ☐ ア メール等（SNS、LINEなどを含む）
- ☐ イ 電話
- ☐ ウ その他（自由記述）

お問い合わせ先

部署名	北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課学校安全係
電話番号	011-204-5895
メールアドレス	tanaka.kazuya@pref.hokkaido.lg.jp

【学校アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

印は必須項目です。必ずご記入ください。

- ▲ 文字を変換するときに、📍 環境依存文字は使用することはできませんので、ご注意ください。
- ▲ ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。
- ▲ 60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【学校アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

【1】 学校名を入力してください

(200文字まで)

【2】 津波警報の発表を受けて、児童生徒や保護者に対して、安全確保に向けた注意喚起を行いましたか。

- ☐ ア 避難指示が出されている地域に居住しているか否かにかかわらず全児童生徒（の家庭）に行った
- ☒ イ 避難指示が出されている地域の児童生徒（の家庭）や学校に登校していた児童生徒など、一部の児童生徒に行った
- ☐ ウ 行わなかった

【6】 一部の児童生徒（の家庭）にのみ注意喚起を行った理由を教えてください（当てはまるものをすべてを回答してください）。

(6個まで選択可能)

- ☐ ア 防災担当部局等から、避難指示が出されている地域に居住する児童生徒（の家庭）に注意喚起するなどの指示があった
- ☐ イ 教育委員会から、避難指示が出されている地域に居住する児童生徒（の家庭）に注意喚起するなどの指示があった
- ☐ ウ 学校の危機管理マニュアル等に基づき対応した
- ☐ エ 児童生徒の居住地などを踏まえ、学校の判断で注意喚起が必要と思われる一部の児童生徒（の家庭）に行った
- ☐ オ 長期休業期間中のため登校していた児童生徒のみ注意喚起を行った
- ☐ カ その他（自由記述）

【7】 誰に対して注意喚起を行ったか教えてください（最も当てはまるものを回答してください）。

- ☐ ア 保護者
- ☐ イ 児童生徒
- ☐ ウ 保護者と児童生徒の両方
- ☐ エ その他（自由記載）

【8】 注意喚起の方法を教えてください（当てはまるものをすべてを回答してください）。

(4個まで選択可能)

- ☐ ア メール等（SNS、LINEなどを含む）
- ☐ イ 電話
- ☐ ウ 校内放送等（在校している児童生徒への周知）
- ☐ エ その他（自由記載）

【学校アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

印は必須項目です。必ずご記入ください。

- ⚠ 文字を変換するときに、📍 環境依存文字は使用することはできませんので、ご注意ください。
- ⚠ ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。
- ⚠ 60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【学校アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

【1】 学校名を入力してください

(200文字まで)

【2】 津波警報の発表を受けて、児童生徒や保護者に対して、安全確保に向けた注意喚起を行いましたか。

- ☐ ア 避難指示が出されている地域に居住しているか否かにかかわらず全児童生徒（の家庭）に行った
- ☐ イ 避難指示が出されている地域の児童生徒（の家庭）や学校に登校していた児童生徒など、一部の児童生徒に行った
- ☒ ウ 行わなかった

【9】 注意喚起を行わなかった理由を教えてください（当てはまるものすべてを回答してください）。

(10個まで選択可能)

- ☐ ア 長期休業中であった
- ☐ イ 防災担当部局からの指示がなかった
- ☐ ウ 防災担当部局等から注意喚起は不要との指示があった
- ☐ エ 教育委員会からの指示がなかった
- ☐ オ 教育委員会から注意喚起は不要との指示があった
- ☐ カ 学校の危機管理マニュアル等示されていない
- ☐ キ 注意喚起を行う基準に達していなかった
- ☐ ク 特に必要性を感じなかった
- ☐ ケ 連絡する手段がなかった
- ☐ コ その他（自由記述）

お問い合わせ先	
部署名	北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課学校安全係
電話番号	011-204-5895
メールアドレス	tanaka.kazuya@pref.hokkaido.lg.jp

北海道電子自治体共同システム 電子申請サービス

【児童生徒アンケート】 7月30日からの津波警報に係るアンケート

印は必須項目です。必ずご記入ください。

- ⚠ 文字を変換するときに、📍 環境依存文字は使用することはできませんので、ご注意ください。
- ⚠ ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。
- ⚠ 60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【児童生徒アンケート】 7月30日からの津波警報等に係るアンケート

7月30日の津波警報は、北海道から遠く離れた場所での地震によるものであったため、多くの方々が津波の到来を予測できない状況でした。そのような中、児童生徒の皆さんが津波警報に対してどのような状況であったのかを把握し、今後の被災時等緊急時の安全確保に向けた取組に活かしたいと考えていますので、アンケートへの協力をお願いします。なお、アンケートは目的以外に使用することはありません。また、個人が特定されることはありませんし、個人の回答内容を公表することはありません。

【1】通っている学校がある市町村を選んでください。

- ☐ 1 豊浦町
- ☐ 2 洞爺湖町
- ☐ 3 白老町
- ☐ 4 室蘭市
- ☐ 5 苫小牧市
- ☐ 6 登別市
- ☐ 7 伊達市
- ☐ 8 浦河町
- ☐ 9 新冠町
- ☐ 10 えりも町
- ☐ 11 日高町
- ☐ 12 新ひだか町
- ☐ 13 様似町
- ☐ 14 函館市
- ☐ 15 北斗市
- ☐ 16 福島町
- ☐ 17 知内町
- ☐ 18 鹿部町
- ☐ 19 森町
- ☐ 20 八雲町
- ☐ 21 長万部町
- ☐ 22 豊頃町
- ☐ 23 厚岸町
- ☐ 24 白糠町
- ☐ 25 釧路市
- ☐ 26 釧路町
- ☐ 27 浜中町
- ☐ 28 別海町
- ☐ 29 羅臼町

【31】学年を選択してください。

- ☐ 小1
- ☐ 小2
- ☐ 小3

- ☐ 小4
- ☐ 小5
- ☐ 小6
- ☐ 中1
- ☐ 中2
- ☐ 中3
- ☐ 高1
- ☐ 高2
- ☐ 高3

【32】津波警報が発表された時（7月30日10時頃）、どの市町村にいましたか。当てはまるもの1つを選んでください。

- ☐ ア 自分が住んでいる市町村内にいた
- ☐ イ 津波警報が発表されている別の市町村にいた
- ☐ ウ 津波警報が発表されていない別の市町村にいた
- ☐ エ 津波警報が発表されているかわからない別の市町村にいた
- ☐ オ その他（自由記述）

【33】津波警報が発表された時（7月30日10時頃）、どこにいましたか。当てはまるもの1つを選んでください。

- ☐ ア 自宅
- ☐ イ 学校
- ☐ ウ 自宅や学校以外の屋内（友人宅、公共施設、お店など）
- ☐ エ 乗り物の中（車、バス、鉄道など）
- ☐ オ 屋外
- ☐ カ その他（自由記述）

【34】津波警報が発表された時（7月30日10時頃）、誰と一緒にいましたか。当てはまるもの1つを選んでください（一緒にいた人が複数いる場合は、年齢の一番大きな人について回答してください）。

- ☐ ア 一人でいた
- ☐ イ 大人（保護者・学校の先生など）と一緒に
- ☐ ウ 小学生以下の人（兄弟姉妹・友人など）と一緒に
- ☐ エ 中学生の人（兄弟姉妹・友人など）と一緒に
- ☐ オ 高校生の人（兄弟姉妹・友人など）と一緒に
- ☐ カ その他（自由記述）

【35】津波警報が発表されたことを知ったのは、いつ頃ですか。当てはまるもの1つを選んでください。

- ☐ ア 10時前（警報が発表されてすぐ）
- ☐ イ 10時～11時頃の間
- ☐ ウ 11時～13時頃の間
- ☐ エ 13時～15時頃の間
- ☐ オ 15時～17時頃の間
- ☐ カ 17時以降
- ☐ キ 知らなかった（アンケートは終了です）
- ☐ ク その他（自由記述）

【36】津波警報が発表されたことを、どのような方法で知りましたか。一番最初に知った方法について、当てはまるもの1つを選んでください。

- ☐ ア テレビ・ラジオのニュース
- ☐ イ インターネットのニュース
- ☐ ウ 役所・役場からの情報伝達（防災無線・広報車など）
- ☐ エ 家族からの連絡
- ☐ オ 友人からの連絡
- ☐ カ 地域の人からの連絡
- ☐ キ 学校の先生方からの連絡
- ☐ ク その他（自由記述）

【37】津波警報が発表されたことを知って、どのような行動をとりましたか。当てはまるもの1つを選んでください。

- ☐ ア 安全な場所に避難した
- ☐ イ 安全な場所にいたので避難しなかった
- ☐ ウ 自分のいる場所が安全な場所ではないと思ったが避難しなかった
- ☐ エ 自分のいる場所が安全な場所かどうか分からなかったが避難しなかった
- ☐ オ その他（自由記述）

お問い合わせ先

部署名	北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課
電話番号	011-204-5895
メールアドレス	tanaka.kazuya@pref.hokkaido.lg.jp

北海道電子自治体共同システム 電子申請サービス

災害から子どもたちを守るために ～家族で話し合ってみませんか？～

災害はいつ起こるか分かりません。お子様が保護者の方と一緒にいない時に被災することもあります。

また、大規模災害時、お子様がいる場所にすぐに駆けつけられるとは限りません。保護者の方がいない時でも、子ども自身が心の安定を保ち、適切な行動をとることができるよう、日頃から家族で避難場所、避難経路、非常時の連絡方法などを決めておくことが大切です。

どのように避難するか決めていますか？

集合場所・避難場所

災害が発生したら、どこへ避難するか、確認しておきましょう。地域で想定される災害や一時避難所、指定避難所を「ハザードマップ」で確認しておく、いざという時に安心です。親子が離ればなれになったときの対応についても話し合っておきましょう。

避難ルート

避難所までの道を歩きながら、危険な場所、近付いてはいけな場所などを確認しておきましょう。子どもは避難に時間がかかることも考えられ、避難にどれくらいの時間がかかるか把握しておくことが大切です。

決めたことがあれば、書いておきましょう！

離ればなれになったときの連絡方法は決めていますか？

連絡方法

通話ができない状態でも連絡が取れるように、電話以外の連絡手段を家族で確認・共有しておきましょう。

例①（災害用伝言ダイヤル）

ひとつの電話番号をキーとして、伝言の録音と再生ができます。

【使い方】

- ①「171」にダイヤルする。
- ②録音なら「1」、再生なら「2」を押す。
- ③キーとなる電話番号を押して利用する。

例②（災害用掲示板）

ひとつの電話番号をキーとして、インターネット上に伝言を残すことができます。

【使い方】

- ①web171にアクセスする。
- ②キーとなる電話番号を入力する。
- ③書き込みなら「登録」、閲覧なら「確認」を押し利用する。

例③（その他連絡方法）

各種サービスの他に、家に避難先を伝えるメモを残すことも効果的です。その場合は、メモを残す場所を決めておきましょう。

また、災害時に連絡の取り次ぎをしてくれる遠方の親戚・知人の連絡先を確認しておくことも大切です。

決めたことがあれば、書いておきましょう！

お子様が自宅で一人でいなければならない場合の過ごし方を確認していますか？



食事

お子様と非常食の食べ方やストックしている場所などを確認しておきましょう。保護者の方がしばらく帰れない場合を想定して、お子様自身で食事ができるようにしておくことが大切です。

自宅

地震などが発生した際に、家の中で特に危険な所を確認しておきましょう。日頃から、家具の固定、ガラスの飛散防止など、家の中を安全な状態にしておくことも大切です。

決めたことがあれば、書いておきましょう！

みんなで備えよう！チェックリスト

- ☐ 家族が集合する場所や避難する場所は確認していますか？
- ☐ 「ハザードマップ」などで地域で想定される災害や避難所は確認していますか？
- ☐ 避難ルート及び避難所までの時間を確認していますか？
- ☐ 離ればなれになったときの連絡方法は確認していますか？
- ☐ 非常食の食べ方やストックしている場所などは確認していますか？
- ☐ 家具を倒れないように固定するなど、家の中に危険がないか確認していますか？

